

## 平成29年度茨城県立病院運営評価委員会（第3回）の開催結果

日時：平成30年2月14日（水） 17：55～19：26

場所：茨城県庁11階 1103会議室

### 【委員】

|                        |              |
|------------------------|--------------|
| 城西大学教授                 | 伊関 友伸 氏      |
| 日製日立総合病院長              | 奥村 稔 氏       |
| 公認会計士                  | 清水 至 氏       |
| 茨城県精神科病院協会会長           | 高沢 彰 氏       |
| 筑波大学附属病院長              | 松村 明 氏       |
| 群馬県立小児医療センター院長         | 丸山 健一 氏      |
| 茨城県医師会長                | 諸岡 信裕 氏（委員長） |
| 茨城県総合健診協会顧問（県医療改革担当顧問） | 山口 巖 氏       |

### 【議事内容・意見等】

#### ○主な意見

- ・ 公立病院の場合、事務職員が短期間で異動し、育っていかないのでは、専門性の高い医事部門や経営企画部門の人材配置の配慮、能力向上など、経営を担う事務職の養成に積極的に取り組むべきである。
- ・ 県立病院にとって、医師の教育、研修及び派遣などの取組みは、県全体の医療人材の育成につながることから、救急医療などと同様に県立病院の役割として位置付けることが必要である。
- ・ こころの医療センターは、後期研修医を確保するなど精神科病院としてかなり優れた病院であると思うが、外部の評価を受けるなど、医療の質の向上にも努めてほしい。こども病院は、来年度からDPC制度を導入することで、病院を客観的に評価できるDPCデータを把握し、経営に活用してほしい。
- ・ 今後の県立病院の方向性については、県全体の中核的な役割、地域医療構想調整会議での議論、民間病院との連携なども踏まえて考えてほしい。